子育て情報誌　令和５年１２月号

実のなる木

北区立西ケ原東保育園
指定管理者社会福祉法人東萌会
北区西ヶ原　３－１９－１１
ＴＥＬ03-3918-8251
ＦＡＸ03-3918-8259

寒さが身に染みる季節となりました。冷たい風に鼻を赤らめながらも、天気の良い日にはできるだけ戸外で体を動かして運動機能を高め、感染症に負けない体を作っていきましょう。

今年は沢山の地域のご家族様に、子育て支援活動にご参加いただくことができました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

冬の感染症にご用心！！

気温が下がって空気が乾燥すると、ウイルスが活発になり、感染症が流行しやすくなります。特に呼吸器系の症状が出やすくなったり、インフルエンザやウイルス性胃腸炎が流行し、集団感染したりすることもあります。手洗いや消毒を行い、冬の感染症対策に努めましょう。

インフルエンザ

原因　インフルエンザウイルスによる飛沫感染、接触感染。

症状　Ａ型は 38℃を超える高熱、Ｂ型は微熱や37.5℃位の発熱でも、検査で陽性となることがある。咳、鼻水、くしゃみなどの風邪症状を伴うことが多い。

対応　抗インフルエンザ薬を内服し、安静にする。発症前 24 時間～発症後３日程度までは最も感染力が強いので、注意が必要。
小児・未成年者では、急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、ウロウロと歩き回る等の異常行動を起こす恐れがある。少なくとも発症から２日間、小児・未成年者を一人にせず、１階で過ごす、窓を閉める等の配慮が必要。

登園の目安
発症した後５日を経過し、かつ解熱した後３日を経過するまで。「医師の意見書」が不要。

感染性胃腸炎（ウイルス性胃腸炎）

原因　アデノウイルス、ノロウイルス、ロタウイルス等による経口感染、接触感染、空気感染。

症状　突然の激しい嘔吐や下痢。発熱することもある。ロタウイルス感染症は便が白っぽくなる。

対応　吐き気が落ち着いたら、イオン飲料等で少量ずつ水分補給する。症状が消失した後も、便にウイルスの排泄が３週間程続くので、注意が必要。嘔吐物や便から感染することが多いので、手洗いが重要。
また、塩素系消毒薬で消毒する。
嘔吐物の付着した衣類は、消毒後に他の洗濯物と分けて洗う。

登園の目安
嘔吐、下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれる状態。無理をせず休息をとる。

咽頭結膜熱（プール熱）

原因　アデノウイルスによる飛沫感染、接触感染。目やにや便からもうつる。

症状　高熱とのどの痛みの他、目の痛み、かゆみ、充血、涙など、結膜炎のような症状が出る。

対応　急性期の最初の数日が最も感染力が強い。咽頭から２週間、便から３週間ウイルスが排出されるので、注意が必要。

登園の目安
熱や目の症状が治まった後、２日経過するまで。「医師の意見書」が必要。

RS ウイルス感染症

原因　RS ウイルスの感染による。飛沫感染、接触感染。特に１歳未満の乳児に多い。２歳頃までに100%の子どもがかかる。６歳未満の乳幼児が感染すると、呼吸困難や細気管支炎、肺炎などの重症になることがある。

症状　鼻水や咳などの症状から始まり、呼吸時にヒューヒュー、ゼーゼーといった喘息様の音が出る。３８℃以上の発熱を伴う。

対応　抗生物質が効かないので、早めに受診し、悪化させない。水分補給や栄養をとり、睡眠をとって安静にする。

登園の目安
呼吸器症状が消失し、全身状態が良くなること。「医師の意見書」が必要。

参考資料：厚生労働省
「保育所における感染症対策ガイドライン（２０１８年改訂版）」より
※一部「学校保健安全法施行規則」を準用